

各主体に求められる行動

札幌市

- 人の生活圏への侵入抑制策を実施
- ヒグマ対策委員会の体制強化、他関係機関との連携強化
- ヒグマ対策の必要性を啓発
- 各主体同士をつなげる「ネットワーク」を構築

専門家・猟友会

- ヒグマ対策の研究・情報収集、行政・市民へ情報提供
- 行政等への的確な助言・提言
- 必要に応じて自ら実施主体として取組実施

北海道・振興局・周辺市町村

- 情報共有体制の構築
- 情報収集、調査研究を行い市町村へ還元
- 広域での取組実践

農家・農業協同組合

- 農家でのヒグマ対策の実践
- (組合)農家の対策サポート

環境関係NPO・関係事業者

- 各々のヒグマ対策実践
- 市民・関係事業者を巻き込み実施

報道機関・教育関係機関

- 市民(子ども)に正しい知識や情報を提供
- ヒグマ対策の機会周知や実践への協力

警察

- 出没時の市民の安全確保

市民

- ヒグマに関する情報を積極的に入手し、理解
- 自らできる対策を考え、実行
- ヒグマ関連のイベントに参加

進行管理

協議体【(仮称)さっぽろヒグマ基本計画推進協議会】

- 学識経験者、専門家、環境関係NPO、報道機関などから選出
- 計画に沿った取組の検討、実践に向けた協議の場
- 進行管理について意見交換する場
- 具体的な働きかけを担う場

札幌市

- 施策に沿った「活動指標」を設定
- 達成度を1年ごとにまとめる

